

【事例】 メカニクスの崩れた時の対処

2024年報知ASでの、私のやらかし事例です。

走者無し。左中間からライトポール方向へ風が強い状況。

私は球審で、打者がライトの右側へ高い飛球。ライトがラインよりへ飛球を追って1塁審がゴースアウトしたので私は、1塁へ駆け上がっていった。飛球はライト線ぎりぎりまで流されている。その時、1塁審が1塁へ戻ろうとしていた。

ふと気が付くと、2塁審もゴースアウトしており、1塁審は1塁へ戻ってきたようだ。飛球はライン際のフェア地域(1m以内)にバウンドした。1塁審は戻る途中で打球判定はせず、2塁審を見ると打球の確認をしているような素振り。私は、フェアを確認して、打者走者の触塁を確認し、2塁を見ると3塁審が2塁へ駆け上がっていた。

ライトがボールを拾って2塁手へ送球して、打者走者は2塁に止まろうとした。私は、3塁が空いている状況(私の責任塁か?)であったので、マウンド方向に移動したが、勝手にプレイが止まると思ってしまった。

その時中継が乱れたことで、3塁コーチが走者に「走れ、走れ」との声、2塁に止まっていた走者は3塁へ走り出した。私は、「やばい」と思ったが既に身体は本塁方向に移動しており(マウンドと本塁の中間の1塁より)、2塁審を見たが、私が3塁へ上がっていなかったことを確認できていなくて、2塁で留まっていた。

私は、止まって3塁でのプレイ(ボールが3塁に送球され、3塁手はボールを3塁から2m程度2塁よりで捕球し、打者走者にタッグした。)を凝視したが、当然タイミングしか見られていない。

タッグ後の3塁手の動作からタッグをして、捕球をしているという動作(タッグ後走者を追いかける等の仕草はなし)であったので、私は3塁に近づきながら、二度三度アウトコールを繰り返した。(当然、大汗と背中にも汗が)

そして、攻撃側監督からタイムの要求があり、プレイの確認に来た。「球審がああ位置で判定するなんてありえない。あの審判(3塁審を指して)が判定するのが当然だろう。」との声。一瞬4審を集めてとも思ったが、判定は自分がして、3塁審は2塁に、2塁審がゴースアウト、1塁審は1塁にいる状況では集めてどうするのかと頭によぎった。

監督には、「あの位置でしたが、しっかりと見て判定しています。」としか言えなかった。監督は「判定はあっちの審判だろう」と再度確認があったが、「私が見て判定しています。」と言ってしまっていた。監督はベンチに戻ってくれた。

【事例における反省】

東京西の監督さん失礼しました。

○ 当日朝のグラウンドまわりの時に、風向きの確認をしていなかった。佐久総合はいつも同じ風。

○ 打球が上がった時に、当然1塁がゴースアウトするものと思いしまい、1塁へ動いた。また、視線が1塁審しか見ていなかった。よって1塁審の動きを見て初めて2塁審もゴースアウトしていたことに気が付いた。

○ 1塁審が戻ったことで、ライン際の打球判定の確認をしていた。しなければならなかった。

○ 2塁審がゴースアウトして3塁審が2塁へカバーに入っていたので、マウンドを中心として打者の動きに同

調して動くべきであった。また、3塁審に声をかけるべきであった。

- 監督への説明をもっと考えた方が良かった。例えば「審判のメカニクスが崩れたため…」や「球審が3塁への判定をしなければならなかったが、技量不足であの位置での判定になってしまった。」
 - アウトをくれた後に4審で集まって確認する？ 監督のプレイの確認の後？誰かが見ていたか確認する？
-
- 打球判定の責任分担付近の打球は、ポーズとリード、野手の動きの確認、ゴースアウトとアンサー、もしかして3分割の2塁審は、ライトとレフトが中に動いた打球にした方がよい？
など考えさせられたプレイでした。いまだにどうすればよいか考えています。